

## 横浜市経済局 経営に関する方針(素案)

団体名	横浜市場冷蔵 株式会社	所管課	経済局中央卸売市場 本場運営調整課
-----	-------------	-----	----------------------

方針（経営の方向性）			
外郭団体としての必要性、役割	市民への安全な生鮮食料品を安定供給するため、市場の食料品の鮮度保持・品質管理の上で不可欠な冷蔵保管施設を、卸・仲卸業者等（以下「市場関係者」という。）が公平に利用でき、また、市場の流通上重要な機能の1つである低温物流機能を確保、維持していく役割がある。		
団体経営の方向性（団体分類）	民間主体への移行に向けた取組を進める団体	経営改革方針（旧方針）における団体分類	民間主体の運営が望ましい団体
方向性の考え方（理由）	市場内貨物の取扱高減少や市場の再編・機能強化完了後の市場関係者の動向やニーズを把握し、市場を取巻く環境変化に対応するため、民間主体の運営に向けた営業方針、組織体制、経営資源、資本構成等の見直しを計画的に進める。		
方針の期間	平成27年～平成28年	3年間以外の場合の考え方	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の中期経営計画期間 <input type="checkbox"/> 主要施設の指定管理受託期間 <input type="checkbox"/> その他（ ）

協約（団体の経営向上等に向けた団体及び市の取組）			
<b>【取組の概要】</b> <p>市場再編・機能強化に対応した施設運用の適正化を図りながら、市場にとって必要不可欠な生鮮食料品の低温物流機能を担います。一方で市場内貨物の取扱いは減少傾向にあるため、公益的な使命を果たしつつ、南部市場跡地や大黒は、一般貨物の取り組みを推進して、売上高を維持していきます。また、ISO9001認証を継続することにより、品質の向上を目指していきます。</p> <p><b>民間主体の運営に向けた取組みとして、市の人的関与を低減します。また、前協約期間中に達成できなかった出資比率の低減化については、団体の将来像も見据えながら懸案事項の解決に向けて条件整理を行った上で、今後の団体運営にとって望ましい形となるよう市と団体で協議を進めます。</b></p> <p><b>自主自立した安定経営に向けて、自社株買制度の確立をするなど株式制度の見直しを行います。</b></p>			

### 1 (1) 公益的使命の達成に向けた取組

団体の目指す将来像	市場内の低温物流を安定的に担っていくための機能の維持			
現在の取組	本場は水産・青果等の生鮮食料品を主体に、南部市場跡地は加工・配送、物流の活用の場へ対応した一般冷蔵庫へ転換するため、貨物の区分けを進めている。			
方針期間の主要目標	①本場は場内の水産物、青果物を中心とする市場型へ、南部市場跡地は一般冷蔵庫型に転換し、取扱量を増やす ②市場再編・機能強化に対応した施設運用の継続	25年度実績	①入庫量（年間） 本場の場内：16,191 t 南部の一般： 9,803 t ②継続	目標数値 ①入庫量（年間） 本場の場内：17千 t 南部の一般：10千 t ②実施
具体的取組	団体 安定的に稼働する施設によって、本場は青果物の取込みと移転仲卸業者の新規取引により、また、南部市場跡地は本場を補完する物流と既存の食品卸売業者の取扱いを拡充することにより、取扱量を増加させます。			
市	施設の老朽化に対し、安定した低温物流の機能を果たすことができるよう団体とスケジュール等を調整し計画的な修繕を行い長寿命対策を図っていきます。			

### 1 (2) 事業の再整理や民間主体の運営に向けた取組

団体の目指す将来像	自主自立的安定経営の達成			
現在の取組	市場の低温物流機能を担う会社として、市と市場関係者が出資し設立した経緯がありますが、時代の経過に合わせるため、市の関与の見直しを検討しています。			
方針期間の主要目標	①市の人的関与の見直し <b>②懸案事項の整理</b> ③株式制度の見直し	25年度実績	①一部実施済 <b>②検討</b> ③検討	目標数値 ①実施 <b>②整理済</b> <b>③一部実施</b>
具体的取組	市 の人的関与を低減し、団体固有職員の内部登用を図ります。また、出資比率の低減化については、懸案事項（水産物部の取扱量の減少、本市所有の冷蔵庫の老朽化対策、南部市場跡地での今後の取扱状況等）について <b>条件整理を行った上で</b> 今後の団体運営にとって望ましい形となるよう市と団体で協議を進めます。			
団体	自社株買制度の確立など株式制度の見直しを行います。			

団体名	横浜市場冷蔵 株式会社	所管課	経済局中央卸売市場 本場運営調整課
-----	-------------	-----	----------------------

協約（団体の経営向上等に向けた団体及び市の取組）									
<b>2 財務の改善に向けた取組及び業務・組織の改革</b>									
団体の目指す将来像	品質向上と業績目標の達成								
現在の取組	市場内貨物の取扱いは減少傾向が続いていることから、中期経営計画の売上高は下方修正を検討しているところですが、不採算事業の見直しや廃止など、収益構造の見直しを継続的に実施して、体质強化を図ることで、安定した経営を維持しています。また、ISO9001認証の継続により品質向上に取り組んでいます。								
方針期間の主要目標	①売上高・営業利益率 ②ISO9001の認証の継続	25 年 度 実 績	①売上高1,152百万円 営業利益率3.8% ②継続	目標 数 値	①27、28年ともに 1,050百万円、3.5% ②毎年定期審査の継続				
具体的 的 取 組	団 体	保管料、荷役料などの料金の適正化、電気使用料の対策、作業時間等の見直し等を進め、事業の適正化を継続し採算を確保します。また、ISO9001の認証を継続することにより社員教育の充実を図り、品質向上を目指します。							
	市	市場の再編により南部市場を廃止し本場に市場機能を集約し、南部市場跡地は本場を補完する加工・配送、流通の場として活用します。また、食の安全・安心を確保するため本場水産棟を衛生面に配慮した温度管理型施設へ改修します。これらの取組により横浜市場の活性化を図り、水産物の取扱量・取扱高の減少に歯止めをかけていきます。							
公的な役割を担う外郭団体としての 団体と市との円滑な連携・協力体制の構築に関する取組									
<b>27年度以降の関与のあり方検討を踏まえて記載します。</b>									